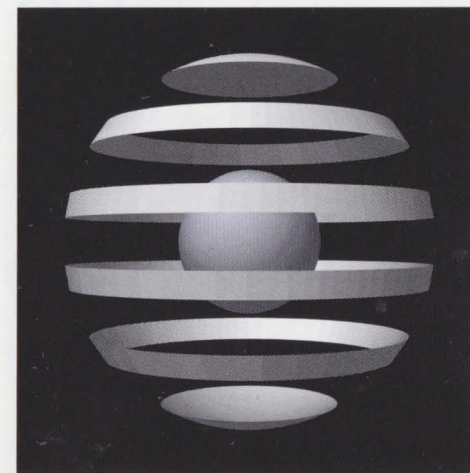


月よ、静寂の中、
貴方は 何気なく
私の母となり、部屋の中を見渡すと、
無数の魂を 机の上に置かれた紙と、
その身に宿す。老人の描かれた
私はその朽ち果てぬ光 肖像画に
に包まれ、気がついた。
命の息吹を 紙に書かれていた
受け入れるのだ。四桁の数字を
『これが例の奴か・・・』 肖像画に入れると、
『そうです。老人が
今日お呼びしたのは・・・』 低い声で話しかけてきた。
『言わなくても分かっている。』 四人の人物が持つ
これは何としてでも成功 石版を手に入れ、
してもらわないとな。』 そこに刻まれた
気がつく、詩が示す意味を答えよ。』
私は見知らぬ部屋にいた。再び静寂が戻った部屋に
何故ここにいるのか、響く波の音は、
そして自分が これから始まる
何者なのか、孤独な冒険を
全く思い出せない。予感させた。



冒険

USER'S MANUAL

の手引き

MOON



～目次～

ゲームを開始する前に	3
インストール	3
起動	4
保存	4
環境設定	5
マップ画面について	6
アイテム選択画面について	7
各種ポインタについて	8
基本的なプレイ方法	9
キーボードでの操作について	10
アドバイス	11
どうしても解けない場合	11

ゲームを開始する前に

この度は、弊社ソフト『MOON』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。『MOON』は、従来のフィールド型RPGの雰囲気とインターフェースを持つ、新しいタイプのアドベンチャーゲームです。『MOON』をプレイする前に、このマニュアルをお読みください。

インストール

『Moon』CD-ROMの中にある『Moon Folder』フォルダを、ハードディスクにコピーします。この時、ハードディスクには、約30MBの空き容量が必要です。

注意：空き容量がない場合には、CD-ROMから直接プレイできますが、この場合、動作がかなり遅くなりますので、あまりおすすめできません。

起動

- 1) 『Moon』 CD-ROMを入れます。
ハードディスクにインストールした後も、CD-ROMが必要です。
- 2) ハードディスクにインストールされた『Moon Folder』フォルダを開きます。
- 3) 『Moon』 アイコンをダブルクリックします。
- 4) ゲームを新たに開始する場合には『ファイル』メニューから『新規』を、以前に保存された所から再開する場合には『開く ...』を選択します。

保存

- 1) 『ファイル』メニューから『別名で保存 ...』を選択します。
既に関われている保存ファイルに上書きするには、『保存』を選択します。
- 2) 保存ファイルに名前を付け、『保存』ボタンをクリックします。
保存ファイルは、1ファイルにつき、約130KBの空き容量を必要とします。

注意：ゲーム中、一部、保存できない場所があります。このような場所にいる場合には、一度その場所から出て、保存してください。

環境設定

- 1) 『ファイル』メニューから『プレファレンス ...』を選択します。
環境設定ダイアログが表示されます。

メッセージ速度	移動速度
☐ 遅い	☐ 最低速
☒ 普通	☐ 遅い
☐ 速い	☒ 普通
	☐ 速い
	☐ 最高速
音楽	自動回避
☒ オン	☒ オン
☐ オフ	☐ オフ
☒ 経過時間を表示	
☒ 秒を表示	
キャンセル OK	

- 2) 『メッセージ速度』『移動速度』『音楽』『自動回避』『経過時間を表示』の各項目を設定し、『OK』ボタンをクリックします。

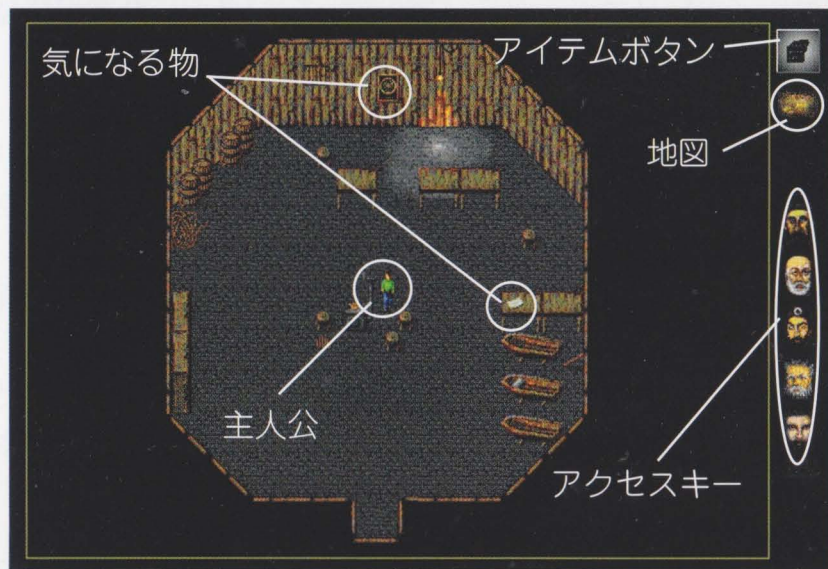
注意：移動速度の項目にある『最高速』は、完全にCPUの速度に依存します。つまり、速い機種ほど快適に移動できます。

注意：『自動回避』がオンの場合、調べる時などに、かえって操作し辛い事があります。

注意：移動速度の設定にかかわらず、経過時間を表示しない方が、多少高速に移動できるようになります。

- 3) システムフォルダの『初期設定』フォルダ内に、『Moon Prefs』ファイルが作成されます。

マップ画面について



■主人公

常に画面の中心に存在し、移動に伴って背景がスクロールします。

■気になる物

マップ上には、絵や紙などの気になる物が存在します。マウスボタンを押さずに、マウスポインタをその上に移動させると、もしそれがゲームに関係あるなら、マウスポインタが  に変わります。

■アイテムボタン

アイテムボタンをクリックすると、アイテム選択画面が表示されます（次ページ参照）。アイテムボタンに表示されているアイコンは、現在手に持っているアイテムです。アイテムは、手に持っていないと使用できません。

■地図

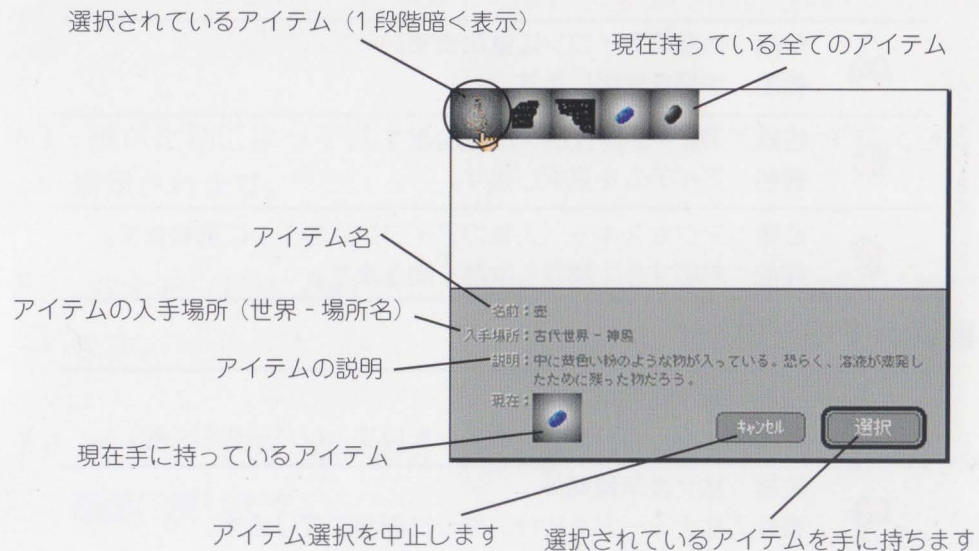
5つの世界には、必ずその世界に対応する地図が存在します。地図を使用すると、各場所への移動が非常に簡単に行えますので、なるべく早めに手に入れてください。地図は、比較的簡単な場所にあります。

注意：ゲームシステムの都合上、一部の場所で、地図を使用できない場合があります。予めご了承ください。

■アクセスキー

人物の肖像画に、アクセスコード（ある4桁のコード）を入力すると、肖像画へのアクセスを許されます。彼らは、あらゆる場所で、様々な助言を与えてくれます。助言が必要になったら、アイコンをクリックしてください。5人は、それぞれ異なる助言をします。

アイテム選択画面について



各種ポインタについて

マウスポインタは、その位置により、様々な形に自動的に変更されます。基本的に、シングルクリック（1回のクリック）で、対応する機能が使用できます。

■ マップ内



位置：主人公より上方。
機能：上へ移動します。



位置：主人公より右方。
機能：右へ移動します。



位置：主人公より下方。
機能：下へ移動します。



位置：主人公より左方。
機能：左へ移動します。



位置：主人公に重ねます。
機能：主人公の向いている方向にある物を調べます。



位置：気になる物に重ねます。
機能：それがストーリーに関係のある事を示します。

■ マップ外



位置：地図のアイコンに重ねます。
機能：地図を使用します。



位置：アイテムアイコンに重ねます。
機能：アイテムを選択します。



位置：アクセスキー（人物のアイコン）の1つに重ねます。
機能：対応する人物から助言を聞きます。

■ 拡大モード時



位置：拡大表示領域内
機能：状況によります（ボタンを押す、レバーを引く等）



位置：拡大表示領域外
機能：拡大モードを抜け、マップ画面に戻ります。

基本的なプレイ方法

1) で移動します。

2) で気になる物をチェックします。

3) が に変われば、ストーリーに関係のある事が分かります。

注意: は、アイテムを取った後でも表示されますので、 が表示されていても、何もない時があります。

4) 関係のある事が分かれば、 でその前まで移動し、調べたい方向を向いて、 で本格的に調べます。

注意: でクリックした時、アイテムを手にとっていれば、もしそのアイテムがその場所で必要なら、手に持っているアイテムを使用します。

5) 調べた物によっては、拡大モードに移り、調べた物が拡大して表示されます。

6) 拡大モード時: で気になる所をクリックし、更に細かく調べます。

7) 拡大モード時: 調べ終わったら、 の状態でクリックし、マップ画面に戻ります。

キーボードでの操作について

■テンキーの8 / w

上へ移動する。

■テンキーの2 / x

へ移動する。

■テンキーの4 / a

左へ移動する。

■テンキーの6 / d

右へ移動する。

■テンキーの5 / スペースバー

向いている方向にある物を調べる。手に持っているアイテムが役に立つなら、それを使用する。

■テンキーの0

アイテム選択画面を表示する。

■テンキーの. (ピリオド)

マップを表示する

■エンターキー / リターンキー

拡大表示モードから、マップ画面に戻る。

■数字の1・2・3・4・5

それぞれ対応する人物の助言を得る。

注意：これ以外の操作は、マウスで行ってください。

アドバイス

このゲームは非常に自由度が高く、そのため、途中で行き詰まる事が何度かあるでしょう。その時のために、以下の事を覚えておいてください。きっと役に立つでしょう。

■複数の場所や物が1つの謎に関連している事があります。1つの場所や物で悩むより、色々な所に足を運び、色々な物を見てくると良いでしょう。

■各世界には、必ず、その世界に対応する地図が存在します。新しい世界に移ったら、先ず最初に地図を探すと良いでしょう。地図を使用すると、移動が楽になるばかりか、地名まで分かるようになります。

■地図を手に入れたら、地名に気を付けると良いでしょう。名前が、謎のヒントになる事があります。

■助言は大いに活用しましょう。マップ毎に違う助言を与えてくれます。助言はヒントとは違い、答えに直結するような事はありません。

どうしても解けない場合

どうしても解けない謎がある場合、『Moon Folder』フォルダの中にある『禁断の解答集』フォルダをご覧ください。この解答集は、通常のフォルダを開く操作で見える事ができます。ただし、ここに書かれている内容は、ヒントではなく解答です。乱用すると、ゲームの面白さが半減する可能性がありますので、最後の手段としてお使いください。